

株式会社昇栄化成

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2026年9月30日



大垣共立銀行とOKB総研は、株式会社昇栄化成（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB総研が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ.....	1
(1) 株式会社昇栄化成の企業概要.....	1
(2) 株式会社昇栄化成の事業概要.....	3
(3) 経営理念	7
(4) サステナビリティ.....	8
2. インパクトの特定	10
(1) バリューチェーン分析.....	10
(2) インパクトマッピング	10
(3) インパクトレーダーによるマッピング	11
(4) 特定したインパクト.....	13
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認	15
3. インパクトの評価	17
4. モニタリング.....	19
(1) 株式会社昇栄化成におけるインパクトの管理体制	19
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング	19

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

(1) 株式会社昇栄化成の企業概要

企業名	株式会社昇栄化成
設立	2007 年 6 月
代表者名	代表取締役 日沖 昇市
資本金	200 万円
従業員	34 名 (2026 年 8 月時点)
売上高	8.8 億円 (2026 年 3 月期)
事業拠点	本社兼工場 愛知県一宮市西萩原字若宮前 72
事業内容	- 化成品製造加工および販売業 (ウレタンフォーム・ポリエチレンフォーム・ゴムスポンジ等、発泡品の加工および販売) - パッケージ加工販売 (プリスターパック・化粧箱・ポーチ等) - 耐震マット・防音材・フィルタースポンジ等販売 - 生活雑貨・建材・家具等の材料用スポンジ・マットの販売
関連会社	株式会社 Q&S …就労継続支援 B 型事業所 あずら事務所 愛知県一宮市あずら 3 丁目 6 番 8 号 かいめい事務所 愛知県一宮市開明字東沼 9 株式会社アドバンス …雑貨類の輸入



＜沿革＞

2007 年 6 月	一宮市明地に株式会社昇栄化成を設立
2009 年 8 月	一宮市西萩原に本社工場を移転
2013 年 5 月	中国からの輸入取引を開始（雑貨関連）
2014 年 12 月	株式会社 Q&S 設立（関連会社） 株式会社アドバンス設立（関連会社）
2021 年 10 月	SDG s 宣言
2021 年 12 月	「健康宣言チャレンジ事業所」認定
2024 年 3 月	「健康経営優良法人 2024（中小規模法人部門）」認定
2026 年 6 月	高密度スポンジ加工の床材を開発



(2) 株式会社昇栄化成の事業概要

同社は、ウレタンやポリエチレンなどの材料をスライス・裁断・プレス加工し、緩衝材や内包材、防音材といった中間製品を製造している。

また、関連会社にて、就労継続支援B型事業所の運営や雑貨類の輸入も行っている。

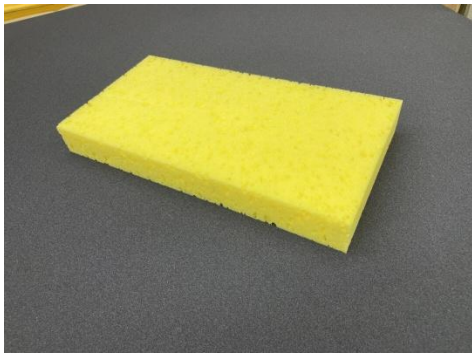
【事業内容】

➤ 化成品製造加工および販売業

(ウレタンフォーム・ポリエチレンフォーム・ゴムスポンジ等、発泡品の加工および販売)

同社が加工した中間製品は納品先でさらに加工され、自動車部品や工業製品、耐震マット・防音材などの家具用品から化粧箱・ポーチといった生活雑貨品まで、人々の生活に身近な商品として流通している。

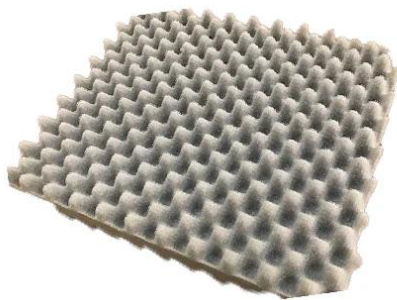
【主な加工品】



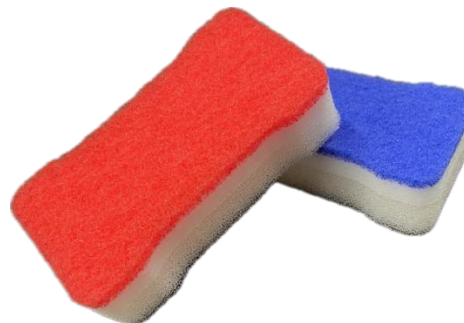
ウレタンフォーム EGT-C



ポリエチレンフォーム B4



クッションフロアマット



キッチンスポンジ

【納品フロー】

①スライス

ウレタンやポリエチレンの原反を必要な厚みにスライスする。
スライスの精度が仕上がりの品質に直結する重要工程である。



②粘着加工

スライスした原反を貼り合わせる必要がある場合に粘着加工を行う。



③裁断

バーティカルカッターを使用して直線の裁断を行う。



④プレス型抜き

曲線の製品はプレス機で型抜きして成形する。



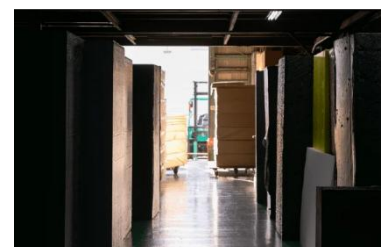
⑤検品・梱包

丁寧な検品をして、製品の精度をチェックする。
その後、納品時の仕様に基づき梱包する



⑥出荷

完成品を出荷する。



【同社の強み】

• 「安く早い！」を叶える生産体制

製品の材料となるウレタン・ポリエステル原反を自社で確保しており、低価格での提供と迅速な発注対応が可能である。



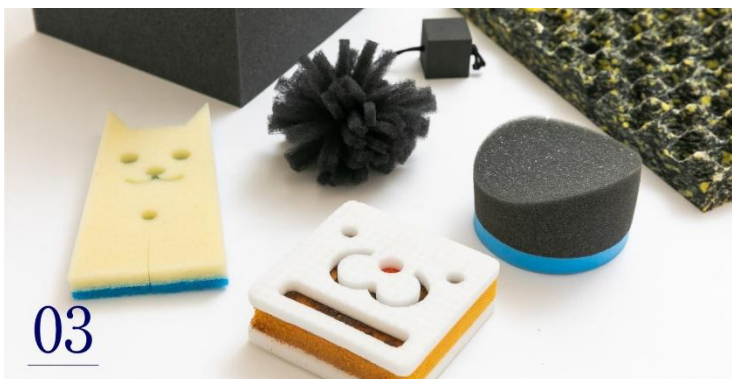
• 精度の高いスライス技術

同社では、熟練の従業員がスライス加工を担当し、加工誤差を極限まで抑えた高品質な製品づくりにこだわっている。また、他社では導入例の少ないスライス加工機を保有しており、特殊な加工にも対応できる技術力を有している。



• サンプル試作から量産までのスムーズなフロー

通常、業界ではサンプル製作に1～2週間程度を要するところ、同社では、社内で図面を作成し、専用の機械で試作品を製作するため、迅速な対応が可能である。また、型も自社で製作しているため、試作から量産までスムーズに移行できる体制を整えている。



【今後の展開】

- **新規顧客の開拓と利益率の向上**

今後は、既存の取引先経由の仕事だけでなく、直接顧客を開拓していくことで、利益率の向上を目指している。そのための具体的な戦略として、新規顧客の獲得とオリジナル商品の開発・販売に注力していく方針である。

- **オリジナル製品の開発と販売**

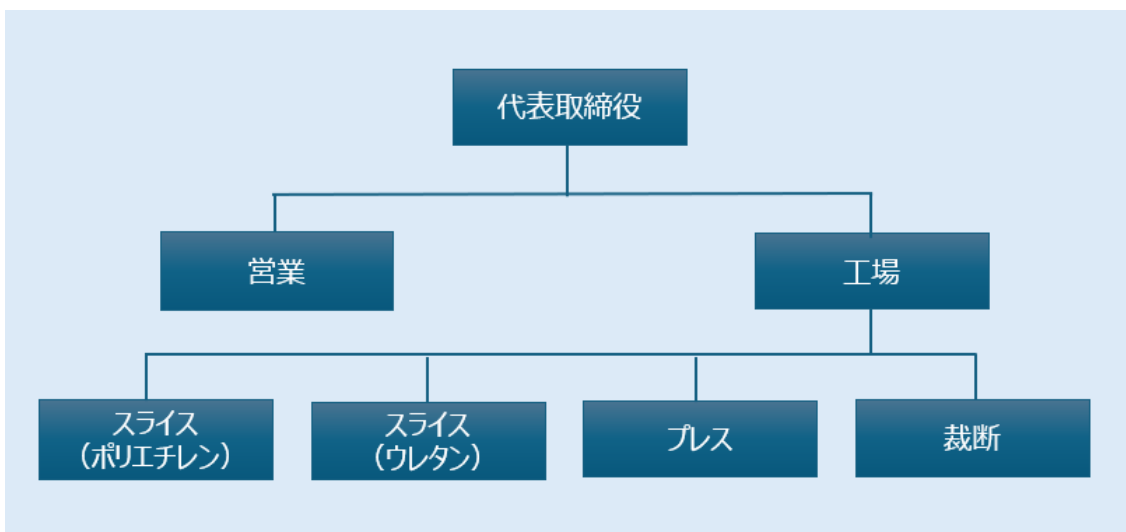
製造過程で発生する端材（廃材）を有効活用したクッションなどのオリジナル商品や、高密度スポンジ加工の床材を開発し、新たな収益の柱とすることを目指している。

高密度スポンジ加工の床材については、防音・防振効果がありながら、車いすでも沈みにくい床材として、福祉施設や保育施設などに提案していく。

- **ビジネスマッチング**

ビジネスマッチングなどを通じて、ホームセンターなどへの直接販売も検討している。

【組織体制】



(3) 経営理念

同社は以下の理念を掲げて、事業活動に取り組んでいる。

【経営理念】

技術と人を大切に、未来を創る

- 化成品の加工・販売を通じて社会に必要とされる高品質な製品を提供し続けるとともに、従業員一人ひとりの技術力向上と働きやすい環境づくりに取り組む。
- 少子高齢化が進む中でも、年齢や経験に関わらず能力を発揮できる人材を大切にし、技術の継承と人材育成を推進していく。
- 関連会社が運営する就労支援施設と連携し、障がいのある方々の就労機会の創出・拡大に努めることで、多様な人材が活躍できる社会の実現に貢献する。
- 今後も品質向上と社会貢献の両立を図り、地域社会から信頼される企業を目指す。

日々の業務においては、毎日の朝礼などを通じて、同社の強みでもある「品質と早さ」の重要性を伝えており、組織全体への意識浸透を図っている。

(4) サステナビリティ

同社はSDGs宣言を定め、これを指針として課題に取り組んでいる。

それぞれの重点項目(マテリアリティ)において、具体的には以下のような取り組みを行っている。

① 人権・雇用

梱包材や各種マット類の販売・提案を通じて、誰もが働きやすい職場環境づくりを実践してまいります。

- 定年後の継続雇用
- 障がい者の積極採用
- 女性が活躍できる職場環境の実現



② 社会貢献

積極的に障がい者の雇用を実践し、教育していくことで、地域社会に貢献していきます。

- 障がい者が経済的に自律できるような社内制度の構築



③ 環境対策

省エネ化や使用材料の選別を行うことで、事業活動による環境負荷軽減に努め、地球温暖化防止に取り組んでまいります。

- 太陽光設備、省エネ設備の導入
- 環境負荷の低い材料の使用



④ 品質管理

高い品質の製品を素早くお取引先に提供することで、お客様の信頼と満足が得られるように努めてまいります。

- CADの導入による業務の効率化
- 自動裁断システムの導入による品質の均一化



<SDGs 宣言以外>

➤ 「リデザインプロジェクト」への協賛

「リデザインプロジェクト」とは、地場産業の未利用繊維素材を材料に、地域の学校でデザインを学ぶ学生が作成した作品をコンテストで選び、その作品を地域の障がい者施設で商品化し、地域の小売店舗で販売するプロジェクトである。このプロジェクトは、一般社団法人リデザインプロジェクトが愛知県および近隣県で運営している。同社はこの取り組みに賛同し、2026 年からプロジェクトパートナーとして協賛している。

➤ 健康宣言チャレンジ事業所

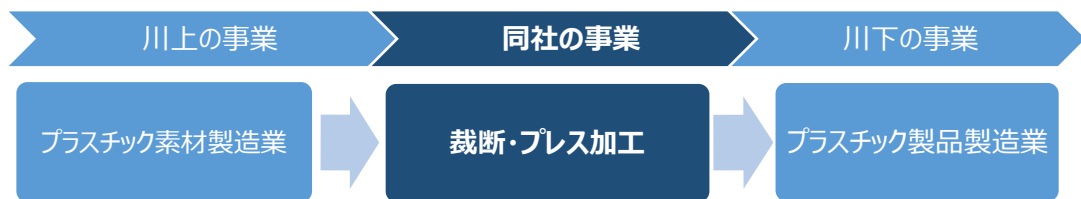
全国健康保険組合愛知県支部より、2021 年に「健康宣言チャレンジ事業所」の認定を受けている。



2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

- 同社は、愛知県一宮市を拠点に、ウレタンフォーム、ポリエチレンフォーム、ゴムスポンジなどの化成品の加工・販売を行っている。材料の調達からスライス加工、粘着加工、裁断加工、プレス型抜き、検品、梱包までを自社工場で一貫対応しており、多様な顧客ニーズに応じたオーダーメイド加工や小ロット・短納期対応を強みとしている。
- 主な製品は、緩衝材や内包材、防音材、クッション材、フィルタースポンジ、耐震マットなどの機能性部材に加え、化粧箱、ポーチ、プリスターパックなどのパッケージ製品を製造しており、特に、高精度なスライス加工技術や特殊加工への対応力を活かし、高品質な製品を提供している。
- 商流としては、原材料メーカーから仕入れた化成品材料を加工し、主にメーカーや部品製造業者へ中間製品として納品する。納品先でさらに組み立て・加工が行われ、自動車部品や工業製品、家具用品、生活雑貨など幅広い最終製品に組み込まれ、市場へ供給されている。
- 近年は既存取引先経由の受注に加え、新規顧客の直接開拓やオリジナル商品の開発・販売にも注力しており、端材を活用したクッションや福祉施設向け高密度スポンジ床材など、新たな付加価値商品の展開を進めている。



(2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。
- 同社の事業を、「プラスチック製品製造業（国際標準産業分類：2220）」とする。
- 川上の事業を、「プラスチック及び合成ゴム素材製造業（同：2013）」とする。
- 川下の事業を、「プラスチック製品製造業（国際標準産業分類：2220）」とする。
- 以上の事業について、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト（以下 PI）」と「ネガティブインパクト（以下 NI）」を想定する。

(3) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン			川上の事業		同社の事業		川下の事業	
業種 (国際標準産業分類コード)			プラスチック及び合成ゴム素材製造業 (2013)		プラスチック製品製造業 (2220)		プラスチック製品製造業 (2220)	
大分類	インパクトエリア	インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	人格と人の安全保障	紛争						
		現代の奴隷制度						
		児童労働						
		データのプライバシー						
		自然災害						
	健康と安全	健康と安全		●		●		●
	資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手頃さ、品質	水						
		食糧						
		エネルギー						
		住居						
		健康と衛生						
		教育						
		移動手段						
		情報						
		コネクティビティ						
		文化と伝統						
		ファイナンス						
	生活	雇用	●		●		●	
		賃金	●	●●	●	●●	●	●●
		社会的保護		●		●		●
	平等と正義	ジェンダー平等						
		民族/人種の平等						
		年齢差別						
		その他の社会的弱者						
社会 経済	強力な制度、平和、安定	法の支配						
		市民的自由						
	健全な経済	セクターの多様性						
		零細・中小企業の繁栄						
	インフラ	インフラ	●					
自然 環境	経済収束	経済収束						
	気候の安定性	気候の安定性		●●		●		●
	生物多様性と健全な生態系	水域		●●		●●		●●
		大気		●●		●		●
		土壌		●●		●		●
		生物種		●		●		●
		生息地		●		●		●
		資源強度		●●		●●		●●
	サーキュラリティ	廃棄物		●●		●●		●●

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

川上・同社・川下の事業において発現したインパクトについて、カテゴリ毎の対応するSDGsターゲットを整理する。
川上、川下の事業は、同社が与える影響が小さいため、省略する。

	大分類	インパクトエリア	インパクト	PI NI		取組内容	対応するSDGs
				PI	NI		
同社	社会	健康と安全	健康と安全		○	2027年度中に健康経営優良法人認定を計画しており、従業員が健康で安全に働ける環境整備を進めている。	8.8
		生活	雇用		○	業務に必要な資格取得や講習にかかる費用を会社が全額補助し、従業員の技能向上を支援している。	8.6
			賃金		○	勤続2年目以降を対象とした退職金制度を整備することで、従業員が将来に安心感を持って長期的に働ける雇用環境を提供している。	8.5
		平等と正義	ジェンダー平等		○	女性従業員の管理職への登用等を積極的に進めていく方針である。	8.5 8.8
			その他の社会的弱者		○	就労継続支援B型事業所との連携や内職業務の発注を通じて、障がい者の就労機会創出に貢献している。 福祉施設からの採用を積極的に進めていく方針である。	8.5 8.8
	社会経済	インフラ	インフラ		○	高精度な加工技術を活かし、自動車部品や工業製品など幅広い分野へ高品質な中間製品を供給している。 迅速な試作・量産体制や安定供給体制により顧客の生産性向上を支援するとともに、端材を活用した製品開発にも注力していく方針である。	9.1
	自然環境	気候の安定性	気候の安定性		○	売電用太陽光発電の導入やLED化、EV・HVへの切替を進めることで、事業活動における温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる。 CO ₂ 排出量の算定を開始し、2030年度までに排出量を15%削減する目標を掲げるとともに、2030年度までに自社消費用太陽光発電設備を設置する方針である。	7.2 13.2
		サーキュラリティ	廃棄物		○	スポンジ等の加工時に発生する端材を助燃材として有効活用することで、廃棄物の発生抑制と資源の有効利用を推進している。	12.5

※同社の「ジェンダー平等」、「その他の社会的弱者」、「インフラ」のインパクトは、固有のインパクトとして追加する。

※インパクトレーダーで発現したインパクトのうち、上記表に不記載のインパクトは、同社の事業と関連性が低いと評価対象外とした。

(4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトを E S G（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

環境（Environment）

環境に配慮した経営の推進

- 同社は、SDGs 宣言において、省エネ化や使用材料の選別を通じた環境負荷軽減と地球温暖化防止への取組みを掲げ、省エネルギー化や資源の有効活用を推進している。既に売電用太陽光発電設備を導入しているほか、照明の LED 化を完了し、フォークリフトなど更新可能な車両については EV・HV 化を進めるなど、事業活動に伴うエネルギー使用量と温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる。
- また、製造工程で発生するスポンジ等の端材については、助燃材として別用途で有効活用しており、廃棄物の削減と資源循環の推進を実現している。
- 今後は、2026 年度から CO₂ 排出量の算定を開始し、2030 年度までに 2026 年度比で CO₂ 排出量を 15%削減する目標を設定している。加えて、2030 年度までに自社消費用太陽光発電設備を設置する計画である。
- このインパクトは「気候の安定性」、「廃棄物」のカテゴリに該当し、自然環境面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
- 7.2：2030 年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
- 12.5：2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
- 13.2：気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

社会（Social）

高い加工技術と新製品開発等による持続的な事業成長の推進

- 同社は、ウレタンやポリエチレンなどの化成品加工を通じて、自動車部品、工業製品、家具用品、生活雑貨など幅広い産業を支える中間製品を供給している。熟練従業員による高精度なスライス加工技術や特殊加工への対応力、自社での原材料確保による安定供給力、試作から量産までを一貫して対応できる体制を強みとしており、顧客の製品開発の迅速化や生産効率向上に貢献している。
- 今後は、既存取引先経由の受注に加え、直接取引先の開拓を進めることで収益力を高め、事業基盤のさらなる強化を目指している。また、製造工程で発生する端材を活用したクッションなどのオリジナル商品や、高密度スポンジ加工を活用した床材の開発・販売にも注力していく。
- こうした取組みにより、従来の受託加工中心の事業から付加価値の高い自社製品事業への展開を図るとともに、資源の有効活用や社会課題解決につながる製品開発を推進することで、2030 年度までに新規販売先を 2 社以上獲得し、2030 年度までに売上高 10 億円以上を達成すること、さらに 2030 年度までに生活関連の自社独自製品を新たに 2 件開発することを目標としており、事業拡大を通じて地域経済の活性化や雇用の維持・創出、顧客企業の競争力向上に貢献していく方針である。

- このインパクトは「インフラ」のカテゴリに該当し、社会経済面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

9.1：全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。

ダイバーシティの推進

- 同社は、多様な人材が能力を発揮しながら長く働き続けられる職場づくりを推進している。産前産後休暇や育児休暇制度を整備しているほか、子育て中の従業員に対しては時短勤務の相談に応じるなど、家庭環境に配慮した柔軟な働き方を支援しています。こうした取組みにより、仕事と家庭の両立を後押しし、従業員が安心して働ける環境を提供しています。従業員 34 名のうち約 6 割を女性が占めており、女性が活躍する職場となっている。今後は、2030 年度までに女性管理職比率 30%以上を目標に掲げ、性別にかかわらず能力や意欲に応じて活躍できる組織づくりを進めていく方針である。
- また、関連事業として就労継続支援 B 型事業所を運営するとともに、福祉施設への内職業務の発注を行うなど、障がい者の就労機会創出に取り組んでいる。さらに、福祉施設から障がい者を社員として採用しており、障がいの有無にかかわらず働ける環境づくりを実践している。今後は 2030 年度までに障がい者を 2 名以上新規採用する目標を掲げ、多様な人材の社会参加と活躍を促進していく方針である。
- このインパクトは「ジェンダー平等」、「その他の社会的弱者」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.5：2030 年までに、若者や障がい者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

企業統治（Governance）

安全な職場環境の整備

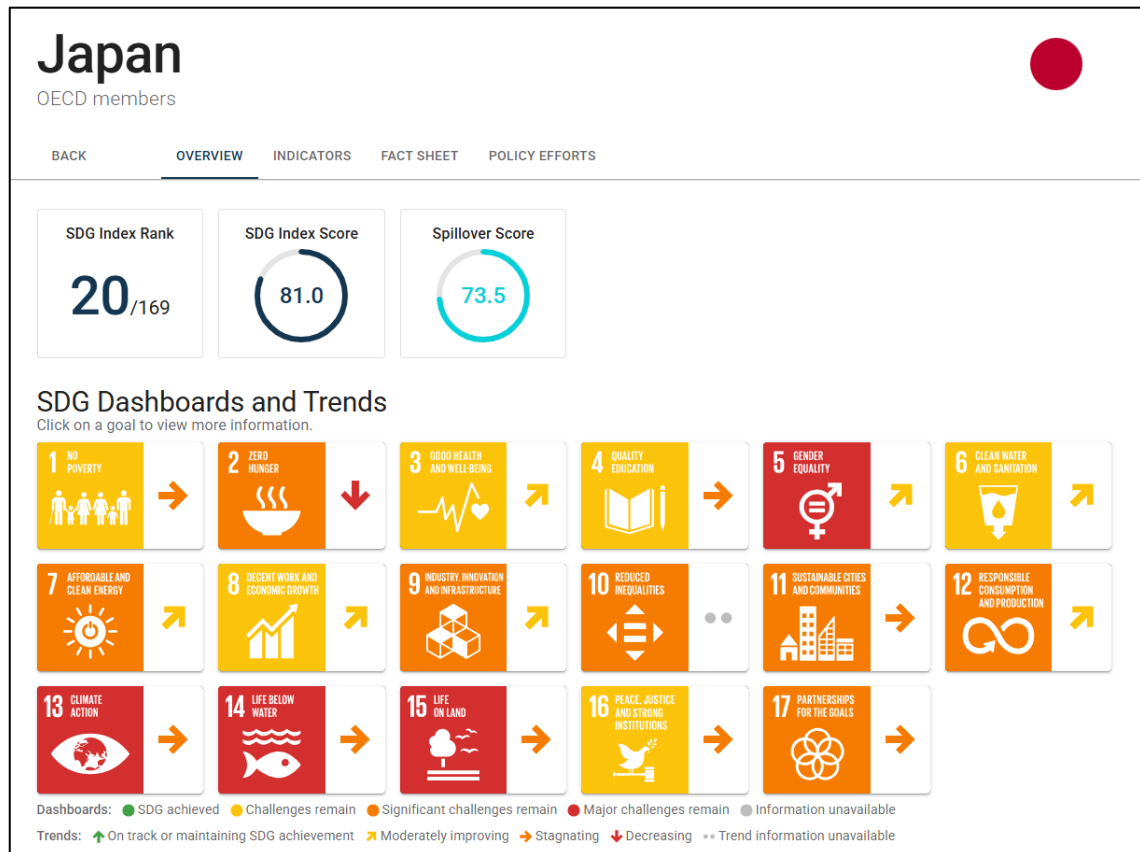
- 同社は、従業員が健康で安全に働き続けられる職場環境の整備を推進している。2027 年度中の健康経営優良法人認定を見据え、従業員の心身の健康増進に向けた取組みを強化している。
- このインパクトは「健康と安全」のカテゴリに該当し、社会面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

① 国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス & ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対する SDGs は、「7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」、「8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」、「9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」、「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」に対して、国内における SDGs ダッシュボードでは、「13」において大きな課題が残る、「7、8、9、12」において、課題が残るまたは重要な課題が残っており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



② 愛知県におけるインパクトニーズ

愛知県における「SDGs 未来都市計画」を参照し、愛知県における SDGs 達成に向けた課題を確認した。



③ 大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の 6 つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 同社の特定したインパクトは以下の通り、大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ）と方向性が一致する。

同社の特定したインパクト	大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ）
環境に配慮した経営の推進	気候変動対応、環境保全
高い加工技術と新製品開発等による持続的な事業成長の推進	地域経済の持続的成長
ダイバーシティの推進 安全な職場環境の整備	多様な人材の活躍推進

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する

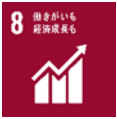
環境に配慮した経営の推進

項目	内容
インパクトの種類	自然環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「気候の安定性」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・再生可能エネルギーの活用や省エネルギー化等を推進し、化石燃料由来の電気使用量を削減することで、脱炭素社会の実現と環境負荷低減に貢献する
KPI	・2026 年度中に CO₂排出量算定を開始し、2026 年度を基準として 2030 年度までに CO₂排出量を 15%削減する ・2030 年度までに自社消費用の太陽光発電設備を設置する ※各項、以降の目標は再設定する

高い加工技術と新製品開発等による持続的な事業成長の推進

項目	内容
インパクトの種類	社会経済的側面において PI を拡大
カテゴリ	「インフラ」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・長年培ってきた加工技術と経験をさらに活かし、新たな市場開拓とニーズを捉えた独自製品の開発に取り組み、持続的成長を目指す
KPI	・2030 年度までに売上高を 10 億円以上にする (2025 年度売上高 : 8.8 億円) ・2030 年度までに新規販売先を 2 社以上獲得する (2025 年度 : 既存販売先数 7 社) ・2030 年度までに、生活関連の自社独自製品を新たに 2 件開発する (2026 年 7 月時点 : 自社独自商品 1 件) ※各項、以降の目標は再設定する

ダイバーシティの推進と安全な職場環境の整備

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大 社会的側面において NI を縮小
カテゴリ	「健康と安全」「ジェンダー平等」「その他の社会的弱者」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・女性従業員がマネジメントを学ぶ機会を創出し、管理職の育成環境を整える ・作業スペースの改善やフォロー体制等、障がい者一人ひとりに配慮した環境を整備する
KPI	・2030 年度までに女性管理職を 3 名以上とする (2026 年 7 月時点：女性 1 名／全 6 名) ・2030 年度までに障がい者の新規社員採用を 2 名以上行う (2026 年 7 月時点：当該社員数 3 名) ・2027 年度までに健康経営優良法人認定を取得し、以降継続する ※各項目、以降の目標は再設定する

4. モニタリング

(1) 株式会社昇栄化成におけるインパクトの管理体制

- 同社では、日沖社長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定ならびに KPI の策定を行った。
- 今後については、本件にかかる責任者を日沖社長とし、SDGs の推進、ならびに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

(2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行とOKB総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、およびOKB総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行およびOKB総研がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利はOKB総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳および翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。